



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 ブルドックソース株式会社  
 コード番号 2804 URL <http://www.bulldog.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 池田 章子  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務人事部長 (氏名) 佐藤 貢一  
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-3668-6811

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	4,297	2.4	312	47.0	416	24.8	274	26.7
28年3月期第1四半期	4,197	△0.1	212	△6.5	333	6.8	216	11.4

(注)包括利益 29年3月期第1四半期 11百万円 (△98.0%) 28年3月期第1四半期 562百万円 (27.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	4.01	—
28年3月期第1四半期	3.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
29年3月期第1四半期	23,504		17,761		75.6	259.93		
28年3月期	23,671		17,886		75.6	261.76		

(参考)自己資本 29年3月期第1四半期 17,761百万円 28年3月期 17,886百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	1.50	—	2.00	3.50
29年3月期	—				
29年3月期(予想)		1.50	—	2.00	3.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,500	1.0	430	1.2	500	△19.6	320	△20.9	4.68
通期	16,800	0.8	800	2.4	890	△19.2	550	△24.5	8.05

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
(注)詳細は、添付資料3ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」を参照してください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	69,774,401 株	28年3月期	69,774,401 株
29年3月期1Q	1,441,963 株	28年3月期	1,441,648 株
29年3月期1Q	68,332,648 株	28年3月期1Q	68,333,301 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成されており、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページを参照してください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部で回復基調は見られたものの、熊本地震や海外経済の減速の影響が懸念されるなど、依然として個人消費の節約志向が続く状況で推移しました。

このような状況の下、当社グループは、昨年実施した価格改定後の商品価値の再訴求と新たな売場開拓、そして、業務用市場における新たな顧客獲得を進めてまいりました。

ブルドックスにおいては、かけるのはもちろん、炒めて、焼いて、調理しておいしい「うまソース」と「うまソーストマトタイプ」の自社ウェブサイト特設ページやSNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を通じて、毎日のお弁当や作り置きレシピなど、さまざまな食のシーンで何にでも使える万能調味料であることを訴求する活動を展開しております。また、2月に発売した野菜が恋するシリーズの姉妹品「野菜が恋するデリ」、「野菜が恋するスイーツ」に続いて、類似の他メーカー品との差別化を図りサラダでも、漬物でもない、新しい野菜の食べ方を提案する「野菜が恋する漬けサラダ用スイートビネガー300ml」と「野菜が恋する漬けサラダ用赤しそ300ml」を青果売場限定商品として6月に発売しました。

イカリソースにおいては、創業120周年を記念して、トマト等の旨味と香辛料を増加させ、さらに美味しくリニューアル発売した「ウスターソース」、「中濃ソース」、「とんかつソース」の販促活動を強化し、主力商品の価値訴求と定着率向上を目指してまいりました。

業務用商品につきましては、中食や惣菜売場を中心とした企画提案を積極的に行い、さらなる新規ユーザーの獲得に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は42億9千7百万円（前年同四半期比2.4%増）となりました。利益面につきましては、売上が順調に推移するとともに業務の効率化等に努めたことにより、営業利益は3億1千2百万円（前年同四半期比47.0%増）、経常利益は4億1千6百万円（前年同四半期比24.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2億7千4百万円（前年同四半期比26.7%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億6千7百万円減少し、235億4百万円となりました。

流動資産につきましては、現金及び預金が減少したものの、商品及び製品の増加などにより、前連結会計年度末に比べて2千8百万円増加し、91億7千2百万円となりました。

固定資産につきましては、投資有価証券の減少などにより、前連結会計年度末に比べて1億9千5百万円減少し、143億3千2百万円となりました。

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べて4千1百万円減少し、57億4千3百万円となりました。

流動負債につきましては、支払手形及び買掛金の増加などはあったものの、未払費用の減少などにより前連結会計年度末に比べて9百万円減少し、33億9千1百万円となりました。

固定負債につきましては、繰延税金負債の減少などにより、前連結会計年度末に比べて3千2百万円減少し、23億5千1百万円となりました。

純資産は、その他有価証券評価差額金の減少などにより、前連結会計年度末に比べて、1億2千5百万円減少し、177億6千1百万円となりました。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成28年5月13日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得する建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響額はありません。

### (4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,104	3,927
受取手形及び売掛金	4,266	4,308
商品及び製品	438	574
原材料及び貯蔵品	91	102
仕掛品	23	35
繰延税金資産	158	159
その他	60	65
流動資産合計	9,144	9,172
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,955	1,914
機械装置及び運搬具（純額）	1,054	1,003
土地	2,711	2,711
その他（純額）	75	74
有形固定資産合計	5,797	5,703
無形固定資産	7	148
投資その他の資産		
投資有価証券	8,068	7,826
繰延税金資産	50	50
その他	657	655
貸倒引当金	△53	△53
投資その他の資産合計	8,722	8,479
固定資産合計	14,527	14,332
資産合計	23,671	23,504

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,661	1,862
1年内返済予定の長期借入金	79	79
未払法人税等	185	147
未払費用	1,095	991
賞与引当金	171	88
その他	206	220
流動負債合計	3,401	3,391
固定負債		
長期借入金	440	420
繰延税金負債	843	735
退職給付に係る負債	908	885
長期未払金	166	165
その他	25	145
固定負債合計	2,384	2,351
負債合計	5,785	5,743
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,044	1,044
資本剰余金	2,564	2,564
利益剰余金	13,075	13,213
自己株式	△535	△535
株主資本合計	16,149	16,286
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,759	1,496
退職給付に係る調整累計額	△22	△21
その他の包括利益累計額合計	1,737	1,474
純資産合計	17,886	17,761
負債純資産合計	23,671	23,504

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	4,197	4,297
売上原価	2,042	2,014
売上総利益	2,155	2,282
販売費及び一般管理費	1,942	1,970
営業利益	212	312
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	88	106
投資有価証券売却益	35	-
その他	0	1
営業外収益合計	124	107
営業外費用		
支払利息	2	1
その他	0	1
営業外費用合計	2	3
経常利益	333	416
特別損失		
固定資産除却損	0	-
災害による損失	8	-
特別損失合計	9	-
税金等調整前四半期純利益	324	416
法人税等	108	142
四半期純利益	216	274
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	216	274



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	216	274
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	348	△263
退職給付に係る調整額	△2	0
その他の包括利益合計	345	△262
四半期包括利益	562	11
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	562	11
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、ソース類の製造販売事業を単一の報告セグメントとしており、その他の事業については、重要性が乏しいため記載を省略しております。

(重要な後発事象)

第三者割当による自己株式の処分

当社は、平成28年7月29日開催の取締役会において、第三者割当による自己株式の処分を次のとおり決議しました。

- |               |                                  |
|---------------|----------------------------------|
| (1) 処分期日      | 平成28年8月26日                       |
| (2) 処分する株式の種類 | 普通株式                             |
| (3) 処分する株式の数  | 940,000株                         |
| (4) 処分価額      | 1株につき202円                        |
| (5) 処分価額の総額   | 189,880千円                        |
| (6) 処分の方法     | 第三者割当による処分                       |
| (7) 処分先       | 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(役員報酬B I P信託口) |
| (8) 処分理由      |                                  |

平成28年6月28日開催の当社第91回定時株主総会において承認された業績連動型の株式報酬制度(以下「本制度」という。)を導入するために処分するものであります。なお、本制度は、当社の取締役(社外取締役、監査等委員である取締役及び国外居住者を除く。)を対象に、中長期的な視点で株主の皆様と利益意識を共有し、中長期的な視野での業績や株価を意識した経営を動機づけることを目的とするものです。